



こんにちは鳥栖！～市内に住む外国人エッセイ～vol.7



名前 タバケ レア ジェイン セロシャ

国籍 フィリピン

年齢 25歳

好きな言葉 「逆境を通して成長する」



飛行機が着陸したとき、心の中で「久しぶり」と叫びました。仕事仲間や友達、また鳥栖の風景などが次々に浮かんで来てうれしくなりました。私は1年半前まで、鳥栖市にある物流会社の技能実習生でしたが、今回は通訳として再来日しました。

私の出身地は、フィリピンのダバオ市です。フィリピンは7,107の島々からなる国で、ダバオ市は、首都マニラの南方にあるフィリピン第3の都市です。一年中暖かく、緑豊かな山々と美しい海、何ととってもマンゴー、ココナッツなどの果物が豊富なところが魅力です。また、戦前は日本人町があり、今でも日本人が掘ったという「ジャパニーズトンネル」などがあります。

「とす」と言えば鳥の巣、「鳥」と関係があると聞いていますが、ダバオにも国鳥である絶滅危惧種の「フィリピンワシ」がいて、皆が大切に守っています。長年住み慣れたフィリピンを離れ、日本で暮らすことに多少の不安もありますが、子どもたちの元気なあいさつやスーパーのおばさんの親切な対応などに心を温められながら、日々楽しく過ごしています。

将来は、この大好きな鳥栖で、何かフィリピンとつながりのあるような仕事ができればと思いながら、一生懸命日本語を勉強しています。



サマル島の海、フィリピン人は海が大好き



国鳥「フィリピンワシ」